



居合道だより

第 1 1 6 号



1

はじめに

先月末の稽古帰り、寒空にくっきりと白く輝く満月を見た。冬の月は仲秋のそれに劣らぬ趣がある。次の日には暗い夜空からふわりふわりと舞い降りては融けていく名残雪。美しい日本の晩冬の景色を満喫したと思ったら、さらに翌日はPM 2、5か、はたまた黄砂のせいなのか不穏に霞んだ曇り空。それでも負けじとあくまで凜と咲いている梅の花。

三寒四温を経て確実に春の匂いが近づいてくる。それとともに本格的居合のシーズンもやって来た。

今月12日は全国各地から千名の剣友をお迎えして第42回北九州居合道大会が開催される。

ここ数年は関西方面から多数の大学生の参加を得て華やかになってきた。いつも思うことだが、一度の試合出場は数十回の稽古に匹敵する。勝っても負けてもである。

同段位や同年代の剣友の居合を見ると何よりもライバル心をかき立てられ励みになるし、高段者の居合を見取り稽古することはさらなる夢の広がりを与えてくれる。

それでも誰だって当然試合には勝ちたいものだ。そこで審判員の役割の重大さが浮き彫りになってくる。

初段の試合には初段としての判定基準が、5段の試合には5段としての判定基準が必須条件となる。

審判員が今現在自分自身がこう有りたいとイメージしている居合、剣風に左右されての判定など断じてあってはならない。

先ずは、気、剣、体ともに「正しく、大きく、強く」が肝要であろう。

仮に若者に、とってつけたような「品位、風格」あるいは「美」もどきがあったとして、それに惑わされるとしたらもってのほかである。

それらはつけるものではなく、長い修業の末に内面からおのずと滲み出てくるものではなかろうか。そんなものは板につくどころか少々鼻につく。

若者は居合道界の大切な苗木若木である。まずは大きく根を張り幹を太く高く伸ばしてやらねばならぬ大事な時期なのである。

ここで不用意に枝葉を切り取るような指導や判定をしてはならない。苗木若木に不要な枝葉など一本たりとも無いのである。はじめから庭園の植木や盆栽の木を目指して剪定や指導をしていては居合を次世代に繋いでいく親木には成長しない。

若者よ、天高く奔放に四方に枝葉を広げる鎮守の森の大木を目指せ！



2

主な出来事

主な出来事

2月14日 県居合道部臨時総会

サンレイクかすや

チャプタ 3

3～4月の予定

3月12日（土）	第42回北九州居合道大会	北九州市総合体育館
3月12日（土）	福岡県体育協会表彰式 第50回全日本居合道大会団体の部優勝	福岡リーセントホテル
3月13日（日）	福岡県剣道連盟会長特別表彰式 第50回全日本居合道大会団体の部優勝	福岡武道館
3月27日（日）	福岡県剣道連盟居合道審査会 県居合道部次期役員、理事及び代表者会議	福岡武道館
4月9日（土）	居合道教士称号筆記試験	福岡市
4月10日（日）	第46回福岡県剣道連盟武道祭	福岡武道館

その他、お知らせ

去る2月14日の臨時総会にて次期役員、理事の選考が行われました。特に理事選出については、居合道部始まって以来初めての試みで、現役員と各団体代表者による75歳以下の5～7段の全会員を対象にした選挙で公正に9名を選出し、8段5名を加えた計14名が選出されました。新しい役員、理事により新年度から居合道部のさらなる発展を目指して頑張って参ります。会員皆様の積極的な事業参加をお願いします。

「会員の会員による会員のための居合道部」を実現していきましょう！

© 公益社団法人 福岡県剣道連盟 福岡県剣道連盟 居合道部

第116号 平成28年3月1日発行

発行：福岡県剣道連盟居合道部

URL：<http://riai.info/>

発行人：井手友太

〒819-1132 糸島市有田36番地-1

TEL:092-322-0847